

# 『駅前議会』でHOTな話題を!



議員の知り合いがいなくても、市政がわかる。意見も言える。

参加者間で課題を共有できる。行動できる。

それが、私たちが2005年から続けている『駅前議会』です。

お聞きした皆さまの「声」を議会へ、議会改革の提案へ、つないで

まいりました。そのひとつ「議会全体の報告会」が実現したこれからも

HOTな情報をお届けし、皆様との対話の場として充実させてまいります。

お一人でも多くのご参加をお待ちしております!!

円卓形式で意見交換を行った第22回。お子さん連れや若い人たちの参加で盛り上がりました(2月18日)



## 3月議会の争点

### 1. 思いつきバラマキ予算に「修正案」

2012年度予算案のなかで、次の4件については不急の内容として問題提起。

- ①新エネルギー推進課(市単独で地熱発電?水力発電?無理だ)
  - ②学校給食自校炊飯(山積する教育課題、優先する事業なのか?)
  - ③介助犬シンシア像(財源は寄付方式を提案したところ軌道修正へ)
  - ④子ども委員会(子ども議会と同趣旨との指摘、課題認識へ)
- (①②) ⇒⇒ 検証等が不十分として、修正案を提出した

### 2. 議員報酬引き下げを5会派で共同提案

特別職報酬審議会の答申(-2.8%)どおりに引き下げし、自主カットについては今後協議を深めることで一致している。

### 3. 教育長、任期途中でまた交代

「教育現場を熟知した人が絶対必要」との理由で行われた交代劇からわずか2年。今回は前理事で教育行政経験ゼロの人で、2003年からすでに6人目となる。首長による教育委員会の支配ではなく、教育の独立性を守り、公正で安定した教育行政を強く求めた。

### 4. 意図的に事実をゆがめて掲載、

#### 他の議員を誹謗中傷した議員に問責決議→

3月議会中に配布された「太誠会ニュース」の内容は、事実に基づかない独善的なものであり、議員の実名入りでの誹謗中傷も行っている。議会の品位を貶めるこれらの行為に対しては見逃すことができない。よって発行責任者の多田議員に対して反省と謝罪を求める問責決議案を提出。太誠会を除く22名全員の賛成多数で可決された。



市長の施政方針に対し  
会派を代表して質問  
(2月27日)



予算委員会で修正案を提出  
(3月19日)

多田議員の「宝塚市議会議員を侮辱し宝塚市議会の品位を低下させた行為」に対する問責決議

多田議員は、平成24年3月に発行した太誠会ニュース Vol.1 (発行責任者:多田浩一郎)「2011年9月議会 議員報酬額全国市議平均化議案 否決される!! ~反対をするなら対案を出せ!!」において、次のように記載されている。

「対案なり修正案を出して、会派の考えを明らかにすれば議論も進むはずです。いくらがよいのか、自身の価値観の表明も、会派を結成していても修正案も対案も出せないで、ただ反対では話になりません。案をぶつけあうのが、市民が求める議会改革なのではないか。案を示せない会派は存在価値ゼロ。会派は議長になりたい人の議会役員選挙互助会ではない。案を示せない会派は即刻、解散すべきだ。市民に考えを示せない会派は宝塚市議会の面汚しだ!! 宝塚市議会の現状は、近視眼的・非社会的・利己的・保守的にしか振舞えない議員が跋扈する恐ろしい社会の出現に直面している。」

宝塚市議会議員の議員報酬等については、平成24年第1回定例会(3月定例会)に、議員提出議案として2案及びこれらに対する修正案が提出され、議員間の合意によって、宝塚市特別職報酬等審議会の答申どおり議員報酬の削減を行い、今後議員自らが行う自主カットについて議論を深めていこうとしているところである。民主主義とは、考えの相違する者がお互いの意見を尊重し、意見交換を通して合意形成を図っていくものであり、その意思形成過程こそが重要で、前段に記載された記事は事実に基づかない独善的なものであり、いたずらに議会の品位を貶めるものであります。さらに、別途、特定の議員の発言を不正引用したうえ、議員の実名入りで誹謗中傷した記事もある。太誠会のこのような行為は見逃すことはできず、発行責任者であり、代表者である多田浩一郎議員の責任は免れません。

よって、多田議員に、同行為に対する反省と謝罪を求めるものである。

以上、決議する。

平成24年(2012年)3月27日

宝塚市議会